

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	資源循環対策推進事業		
目的	(1) 対象	耕種農家、畜種農家、関係機関及び団体	
	(2) 意図	農業分野での環境負荷軽減・資源循環の推進	
事業概要	○農業用廃プラスチックの適正処理を図るため、島根県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会の開催及び地域協議会等への指導・助言を実施。 ○地域協議会等の関係機関に対して、適正処理に係る研修会及び試験を実施し、農業用廃プラスチックリサイクル処理推進員を養成。 ○家畜排せつ物の循環の観点から、良質たい肥の製造と利活用の推進を図るため、たい肥成分分析やたい肥マップ（県HP掲載）の更新等を実施。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 農業用廃プラスチックリサイクル率	目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	%
		取組目標値						
	式・定義 リサイクル量/回収量	実績値		84.9				%
		達成率		-	-	-	-	
2	指標名 エコファーマー認定件数の累計（平成24年度以降）	目標値		2,306.0	2,391.0	2,477.0	2,563.0	人
		取組目標値						
	式・定義 平成23年度末のエコファーマー数に平成24年度以降の新規認定数を累計したもの	実績値		2,211.0				%
		達成率		-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	519	673
うち一般財源 (千円)	519	673

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>県下すべての地域（10地域）に地域協議会等が設置され、これを通じた回収・処理が行われている。</li> <li>農業用廃プラスチックのリサイクル率 H26：78.2% → H27：84.9%</li> <li>農業用廃プラスチックリサイクル処理推進員の人数 H26：129名 → H27：135名</li> <li>たい肥マップの掲載データ H27年度末現在：79件</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用廃プラスチックリサイクル率は、H26年度実績において低率の2地域（雲南・石西）があり全体数値も低くなったところだったが、H27年度実績において、これらに一定の改善が見られたことから全体の数値も向上し、前評価における目標値を概ね達成した。</li> <li>たい肥マップ掲載のたい肥について、有機JAS登録機関と連携し、随時「有機JAS適合資材」情報の付与に取り組んだが、当該件数も増加してきている。</li> <li>たい肥マップ掲載のたい肥について、H27は東部隠岐地区を対象に成分分析を実施し最新の成分値を示すことにより、上記の有機JAS適合資材情報の付与と合わせ、利用する耕種農家にとって、より有用な情報提供を行った。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業用廃プラスチック処理は、全ての地域で地域協議会等を通じた適正処理の推進が図られ組織的な回収の取組は定着しており、また、リサイクル率もH26からH27にかけては向上したものの、85%程度を頭打ちに伸び悩んでいる。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業用廃プラスチックリサイクル率は多くの地域で100%であるが、3地域が5割弱～8割となっている。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル率が100%でない地域において、引き続きその向上を意識してもらうことが必要。特に回収時における分別が正しくなされていないとリサイクルが進まないため、その点の意識醸成も重要である。</li> <li>たい肥を利用する耕種農家への情報提供につき、引き続き充実を図っていく必要がある。</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用廃プラスチック処理については、特にリサイクル率が100%でない地域を主として、リサイクル率の向上に向けた意識醸成のための指導・助言を行うとともに、例年実施する農業用廃プラスチックリサイクル処理推進員の認定・更新のための研修の場において、分別・リサイクルの意識醸成を積極的に実施する。</li> <li>持続農業法の導入計画の認定を受けるエコファーマーは、たい肥等有機質資材施用技術による土づくりを実施することが求められていることから、エコファーマーの増加はたい肥利用の推進へ繋がる。また、エコファーマーであることを要件とし、「たい肥の施用」が交付対象取組とされている環境保全型農業直接支払交付金についても、その推進はたい肥利用の推進へ繋がるものである。よって、いのち育む島根の『環境農業』推進事業や環境保全型農業直接支払交付金事業の推進とも連携して、環境保全型農業全体の推進を図っていくことで、たい肥利用の推進を図る。</li> </ul>
--

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	資源循環対策推進事業
---------	------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	環境保全効果の高い営農活動のうち「堆肥の施用」が行われた面積	目標値		565.0	633.0	709.0	795.0	ha
			取組目標値						
	式・定義	環境保全型農業直接支払交付金のうち「堆肥の施用」の取組面積	実績値	505.0					%
			達成率	—	—	—	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	